

陳 情 文 書 表

受理番号	28第13号	受理年月日	平成28年6月9日
陳 情 者	目黒区		
件 名	「シルバーアトリエ」の存続に関する陳情書		
<p>【陳情の趣旨】</p> <p>景気が後退し家計も厳しい中、安価で良質のリサイクル家具類が購入できるシステムを閉鎖するのは、目黒区民にとって痛手です。</p> <p>また、最近の社会の風潮では、高齢者の労働を推奨しているのに、「シルバーアトリエ」で働く修繕作業員や、販売に従事する高齢者の仕事を奪わないようにしてください。さらに、エコにも貢献している「シルバーアトリエ」を、閉鎖するのは、現在の社会情勢に相反する行為になります。スクラップ&ビルドの時代ではありません。</p> <p>目黒区環境保全課環境計画係遠藤係長から聞いた話では、「田道ふれあい館」の近くにある清掃工場を建て替えるので、リサイクル品を修繕する作業場が無くなるため、「シルバーアトリエ」を閉鎖するとのことでした。</p> <p>清掃工場を建て替えることには何の異論もありませんが、作業場については、いろいろと工夫して別の場所でも確保できると思います。確かに、作業場には「騒音・異臭」等の問題もありますが、それを工夫して打開策を見つけるのも行政だと思います。例えば、使わなくなった学校教室、統合して廃校となる跡地の一角の利用等々。「騒音・異臭」についても、それなりの設備を整えれば対応できます。</p> <p>今まで使用していた作業場がなくなる。だから、「シルバーアトリエ」を閉鎖するという発想でなく、要は、エコ、高齢者の労働喚起、区民の家計の手助けとなっている「シルバーアトリエ」の存続ありきで、そのためにはどうするかを考え、実行していくのが行政ではないでしょうか。経営上の予算の問題もあるかと思いますが、そこを工夫するのも行政です。</p> <p>「シルバーアトリエ」の存続は、長所が多く、社会の要求にも十分に合致していると思います。それを存続させるデメリットは、少ないと思います。「メリットが多くデメリットが少なく、世の中のニーズにも合っている」、だから、目黒区では他の自治体に先駆け、今まで継続してきたのだと思います。「シルバーアトリエ」の閉鎖は、社会の流れに逆行します。「開かれた区政」と言えるのでしょうか。</p> <p>目黒区環境保全課環境計画係遠藤係長の話では、「清掃工場の建て替えに伴い、移転先を探したが見つからない」とのことですが、真剣に探し、存続するための工夫や知恵をどのように、行ったのでしょうか。</p> <p>また、「閉鎖について」は議会で決まったことなので、環境計画係は決定したことを実行するだけの部署とのことなので、是非、再度、議会で取り上げ、「シルバーアトリエ」の存続を検討願うと共に、「工夫し、知恵を出す行政」並びに、「区民に寄り添う行政」(日本の為にもなる)の実施をお願いします。</p> <p>【陳情事項】</p> <p>「田道ふれあい館」内にある「シルバーアトリエ」について、人づてに聞いた話では、年内に閉鎖するとのことですが、「シルバーアトリエ」を閉鎖せず存続させるように希望します。</p>			